

- 1. タンク及びその周辺の管理体制の強化(8月26日東京電力への指示+追加対策(6.))**
(排水弁の通常閉運用、タンク底部のコンクリートの補強、タンクへの水位計や漏えい検出装置及び集中監視システムの構築)
- 2. パトロールの強化**
(パトロール頻度を1日2回から1日4回へ、線量確認及びその記録について数値を含めた詳細な記述へ改善)
- 3. 溶接型タンクの増設とボルト締め型タンクのリプレイスの加速化**
- 4. 高濃度汚染水の処理の加速化(ALPSを9月中旬より順次稼働)と汚染された土の回収による周辺の線量低減**
- 5. 高濃度汚染水の貯蔵に係るリスクの洗い出しとリスクへの対応の実施**
- 6. タンクから漏えいした汚染水が、海域等に流入する可能性のある経路に対して、常時監視等モニタリングを強化**
等